

2023年度 大阪学院大学国際学学会会員 (2023年12月31日現在)

石川武敏	伊田行秀	井上專
黒田泰司	鴻巣玲子	小林泉
近松明彦	永田雄次郎	根無喜一
根無新太郎	真山全	三井清弘

(50音順)

大阪学院大学国際学学会役員

会長	広野好彦	編集委員	尾崎庸介
副会長	三輪信哉		山口悟
庶務委員	中則夫		
	松本芳明		

執筆者紹介(掲載順)

近松明彦(外国語学部 教授)
 根無新太郎(法学部 講師)
 クリストファー・ミュラー(国際センター 講師)

会員業績

(2022年10月～2023年9月)

小林 泉

- 著書・共著 『ようこそオセアニア世界へ』、昭和堂 2023年3月、333頁、担当第16章「オセアニアと日本－海でつながる私たち」。
- 研究論文・単著 「太平洋の地域情勢」、海洋政策研究所、『島嶼研究ジャーナル』第12巻2号、6-24頁、2023年3月。
- 論説・単著 「中国を受け入れる島嶼国の心情」、太平洋協会、『パシフィックウェイ』第161号、1-2頁、2023年2月。
- 論説・単著 「文献収集の立役者－近年の書籍・文献事情」、海洋政策研究所、『南洋群島文献目録Ⅱ』、152-159頁。
- 論説・単著 「今と昔、日本の対島嶼国外交」、太平洋協会、『パシフィックウェイ』第162号、1-2頁、2023年8月。
- 研究調査 2023年2月9-12日、奄美大島本島、テーマ：島嶼の経済社会開発。
- 研究調査 2023年3月14-19日、小笠原諸島父島、テーマ：島嶼の経済社会開発。
- 研究調査 2023年9月1-8日、ミクロネシア連邦・ポンバイ州及びチューク州、テーマ：島嶼の経済社会開発。

根無 新太郎

- 公開講座 生涯学習講座「歴史から見た中国と海洋」、大阪学院大学エクステンションセンター、2023年6月17日、大阪学院大学2号館。
- 公開講座 「中国史における「法」とは？」、岸和田ロータリークラブ、泉州を考える会、2023年9月21日、岸和田天神宮。

真山 全

- 研究論文・単著 「露ウクライナ戦争における原子力発電所攻撃の国際人道法上の評価」、日本赤十字国際人道研究センター、『人道研究ジャーナル』、第12巻、69-94頁、2023年2月。
- 研究論文・単著 「海上保安庁と自衛隊の海上警備行動における連携－国際法的側面」、奥脇直也他編、『海上保安体制の現状と課題－多様化する海上保安任務』、有斐閣、269-284頁、2023年6月。
- 研究論文・単著 「武力紛争法における『核の忘却』の終焉－対ウクライナ核攻撃を武力紛争法からどのように・どこまで非難できるか」、有斐閣Online ロージャーナル、2023年7月号（YOLJ-L2306008）、全6頁、2023年7月。

- 研究ノート・単著 「露ウクライナ戦争とモントルー条約・海戦法規・海上中立法規」、日本船長協会、『船長』、第140号、25-43頁、2023年3月。
- 研究ノート・単著 「中国による対台湾海上交通妨害の国際法的検討－中国の試みる zonal measure」、日本台湾交流協会、『交流』、第986号（2023年5月号）、7-16頁、2023年5月。
- 学会・討論者 日本防衛学会秋季研究大会・研究報告部会「国際法から分析するロシアのウクライナ侵攻」、2022年11月、防衛大学校。
- 学会・座長 国際法協会（ILA）日本支部研究大会・「国際犯罪への対処」座長、2023年4月、東京大学。
- 学会・座長 国際法学会研究大会・分科会「国際刑事法における『違反』」座長、2023年9月、新潟コンベンションセンター・朱鷺メッセ。
- 講 義 陸上自衛隊小平学校幹部法務運用課程、論題「露ウクライナ戦争と武力紛争法」、2022年10月、陸上自衛隊小平学校。
- 講 義 自衛隊統合幕僚監部統合幕僚学校令和5年度前期3幹部学校合同統合教育（幹部高級課程）、論題「露ウクライナ侵攻関係国際法暫定論点メモ」、2023年4月、統合幕僚学校。
- 講 義 陸上自衛隊小平学校幹部法務運用課程、論題「露ウクライナ戦争と武力紛争法」、2023年9月、陸上自衛隊小平学校。
- 演 習 航空自衛隊幹部学校幹部高級課程（83AWC）、「武力紛争法ゼミ」講師、2023年6月、航空自衛隊幹部学校。
- 講 演 國立政治大學日本研究學位学程講演会、論題「中国による台湾海上封鎖と国際法（中國對台湾進行海上封鎖與國際法）」、2022年11月、オンライン。
- 講 演 陸上自衛隊小平学校小平法務シンポジウム、論題「露ウクライナ戦争と『核』－原子力発電所攻撃と核兵器使用の国際法上の評価」、2023年7月、陸上自衛隊小平学校。
- 講 演 軍事史学会関西支部主催（第125回定例研究会）、論題「露ウクライナ戦争における地上目標破壊の国際法的評価－原子力発電所攻撃」、2023年7月、大阪学院大学。
- 公開講座 笹川平和財団核不拡散・核セキュリティ研究会主催、論題「露ウクライナ戦争と原子力発電所攻撃」、2022年11月、オンライン。
- 公開講座 広島市立大学広島平和研究所主催（「ウクライナへの軍事侵攻と国際社会への影響－安全保障、国際秩序、国内政治・外交の行方」プロジェクト）、論題「露ウクライナ侵攻関係国際法論点メモ－敵対行為の評価及び個人の刑事責任の追及」、2023年2月、オンライン。
- 公開講座 兵庫県生きがい創造協会阪神シニアカレッジ卒業生国際理解ゼミ

主催、論題「露ウクライナ戦争における原子力発電所攻撃の武力紛争法上の評価－日本の原子力発電所の保護のためにはどうしたらよいか」、2023年7月、宝塚市立南口会館。

インタビュー記事 「ダム攻撃は国際法違反なのか」、『朝日新聞デジタル』、2023年6月7日（国際報道部星井麻紀記者による）。

報告書・共著 『通過通航権が適用される日本の海峡の船舶自動識別装置（AIS）データ解析による特定－通過通航が日本の沿岸・港湾管理に与える影響の法的検討』、日本港湾協会令和4年度港湾関係研究奨励助成研究成果報告書、全22頁、2023年6月。

研究成果概要・共著 「通過通航権が適用される日本の海峡の船舶自動識別装置（AIS）データ解析による特定－通過通航が日本の沿岸・港湾管理に与える影響の法的検討」（「令和4年度港湾関係研究奨励助成報告会」報告概要）、日本港湾協会『港湾』、2023年8月号、56頁、2023年8月。

三井清弘

研究論文・単著 「国際連合事務局の人事採用システム－邦人職員増強策の課題－」、日本比較生活文化学会、『比較生活文化研究』、第29号、55頁-64頁、2022年。

研究発表 「国際連合事務局の人事採用システム－邦人職員増強策の課題－」、日本比較生活文化学会第38回研究発表大会、2022年11月20日（オンライン開催）。

国 際 学 論 集

第34卷第1・2号

2023年12月31日 発行

発行兼編集者

大阪学院大学国際学学会

代表 広野 好彦

〒564-8511 大阪府吹田市岸部南二丁目36番1号 phone 06-6381-8434(代)

印 刷

大枝印刷株式会社

〒564-0031 大阪府吹田市元町28番7号 phone 06-6381-3395

INTERNATIONAL STUDIES

VOL. 34, NO.1, 2

DECEMBER 2023

Contents

Articles

- Serial Verb Constructions in English and Japanese: Non-finite Forms
Comparison
..... CHIKAMATSU AKIHIKO — 1
- A Re-examination of the Conservative Faction in the Tongwen Guan
Controversy: Focus on Yang ting-xi's Report to the Throne
..... NENASHI SHINTARO — 29
- 科学技術の裏抜け – 本文に対する科学技術の変革的影響
..... クリストファー・ミュラー — 53

Publications and News of the Members 69